

# 地球科学輻合ゼミナール (2014年度 前期 第1回)のご案内

## 南極での絶対重力測定

福田 洋一

京都大学 大学院 理学研究科 地球物理学分野

第55次南極地域観測の一環として、セールロンダーネ山地地域に位置するベルギーのプリンセス・エリザベス基地および日本のあすか基地近郊のシール岩で絶対重力測定を実施した。プリンセス・エリザベス基地へは航空機を利用し、南アフリカのケープタウンからロシアのノボラザレフスカヤ基地経由で移動し、現地に約3週間滞在した。南極での絶対重力測定の目的は、当初は重力異常などの重力基準値を与えることであったが、現在では氷床変動や後氷期回復などに伴う重力の時間的変化を検出することに重点が移ってきている。南極での絶対重力測定の歴史やその意義について述べるとともに、今回撮影した写真やビデオを中心に、航空機を利用した新しいスタイルの南極観測を紹介する。

4月9日(水) 午後4:30～午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室